

# 輸出事業計画

※申請者名：イヨスイ株式会社、

品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

## 1. 輸出における現状と課題

### 【現状】

- 本県主力輸出商品であるブリ、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
- 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向
- 愛媛県の輸出は増加傾向（R2はコロナでダウン）

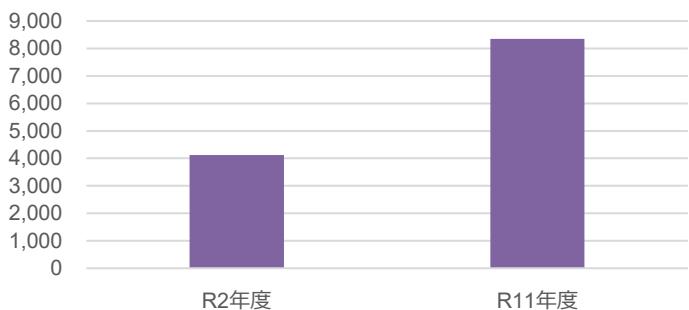
(背景) 輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等

(追い風) 日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等  
(実態) 北米向けブリ伸長、韓国向け活魚伸長

イヨスイ海外輸出（百万円）

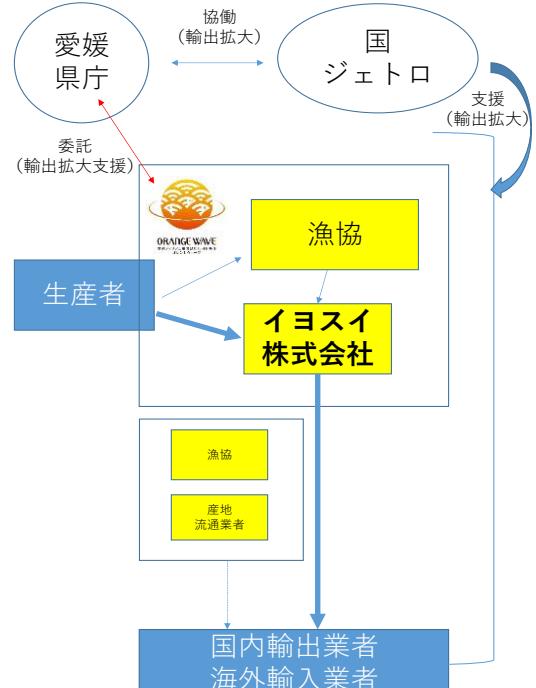
### 【課題】

- 輸出 ～さらなる輸出拡大に向けて～
  - ・HACCP施設の維持拡大
  - ・輸出障壁（放射性物質検査等）の撤廃
  - ・体制整備（FSMA対応、Green list取得等）
  - ・アイテム確保（漁業認証、戦略魚種）
  - ・認知度向上（愛育フィッシュ、EHIME JAPAN）
  - ・ビハインド（価格等）
  - ・マーケットニーズの把握



## 2. 輸出事業計画の取組内容

項目	対応策
HACCP輸出	・HACCP施設整備、改修 ・輸出拡大に必要な機器の整備等
輸出障壁	・輸出証明書の迅速な申請体制の整備
体制整備	・HACCPプラン実行、FSMA対応 ・グリーンリスト取得
漁業認証	・認証取得及び維持 ・現地ニーズの把握
戦略商品	・愛育フィッシュ
認知度	・県プロモーション活動への参加 ・国（ジェトロ）と一緒にしたプロモーション活動への参加
ビハインド	・多量多品種の強みを生かした輸出 ・共同集荷輸送の検討
マーケットニーズの把握	・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等



オレンジウェーブを軸とした官民一体となった輸出拡大対策に取組むこととし、国輸出戦略による拡大策と協働で愛育フィッシュの輸出を伸長。国輸出関連事業についても積極的に活用。

# 輸出事業計画

※申請者名：イヨスイ株式会社、

品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

- ①ニーズに応じた商品展開
- ②プロモーションの選択、実行
- ③問題点のブラッシュアップ

4. 改善

- ①マーケットニーズ
- ②環境整備（ソフト・ハード）
- ③アイテム（認証、魚種）
- ④エンドユーザー拡大

1. 計画

- ①マーケットニーズの整理
- ②需要量の把握
- ③アイテム（認証・魚種）の反響把握
- ④新ジャンルの反響把握
- ⑤輸出実績の把握

3. 評価

- ①プロモーション・リサーチ
- ②環境整備支援（ソフト・ハード）
- ③認証取得支援・開発研究
- ④現地系高級レストラン等開拓
- ⑤輸出実行

2. 実行



## 4. 輸出目標額

ぶり	現状（令和2年度）	目標（令和11年度）	増減
輸出額	2,460,000千円	5,020,000千円	+ 2,560,000千円
輸出量	1,785,000kg	2,280,000kg	+ 495,000kg
輸出先国	北米・韓国・中国	北米・韓国・中国・EU	その他
まだい	現状（令和2年度）	目標（令和11年度）	増減
輸出額	1,009,000千円	1,625,000千円	+ 616,000千円
輸出量	1,385,000kg	1,600,000kg	+ 215,000kg
輸出先国	韓国・中国	韓国・中国	
その他	現状（令和2年度）	目標（令和11年度）	増減
輸出額	657,000千円	1,700,000千円	+ 1,043,000千円
輸出量	459,000kg	700,000kg	+ 241,000kg
輸出先国	韓国・中国	韓国・中国・EU	その他